

8 農薬の散布手順（作業員がわかるルールの作成例）

3

番号	項目	注意事項
1	防除実施の決定	農薬管理責任者が防除計画、病害虫の発生状況、風量、風向き等からドリフトのリスクを検討し防除の可否を決定する。
2	薬剤の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬責任者は以下の点を確認し散布者に指示する。 ①総使用回数 ②使用時期（収穫前日数） ③使用方法、適用作物、適用病害虫、希釈倍率、使用量 ④使用する農薬の最終有効年月
3	使用前点検	<ul style="list-style-type: none"> ①洗浄状況のチェック ②散布機のチェック：ノズル、ホース、接合部 ③散布量のチェック：試運転の実施
4	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬責任者の許可を得て実施する。 ①農薬の有効年月を確認する。 ②所定の農薬準備場所で行う。 ③混用する場合は、ラベルの指示に従い、適正な剤型の順番で投入する。 ④散布面積から必要量を計算し、散布液が残らないように調整する。 ⑤所定の計量器具を使用し、正確に計量する。 ⑥計量カップ等は使用后、3回以上すすぎ、すすいだ水は散布機のタンクに希釈用の水の一部として戻す。 ・ラベルに記載された使用上の注意を確認し、従う。
5	防護服の着用	<ul style="list-style-type: none"> ・ラベルの記載に従う。 ・マスクに使用回数・期間の指定がある場合には、それに従う。
6	農薬散布	<ul style="list-style-type: none"> ・風量、風向き等に注意しドリフト防止に心掛ける ・薬液が残らないように適量を散布する。
7	散布液の洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の場所で散布機の洗浄を行う。 ・散布後、速やかに散布機、ホース、ノズル、接合部及びタンクの順で洗浄する。
8	防除衣、防除具の洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・防除後は、速やかに防除衣、防除具を脱ぎ、交差汚染を防ぐ。 ・防除衣、防除具を洗浄する。 ・防除衣は、着用後に他の服と分けて洗浄し、手袋は外す前に洗う。 ・ゴム長靴は靴底までしっかりと洗う。 ・破れたり痛んだりした防除衣やマスクの汚れたフィルターは新しく替えている。 ・防除衣、防除具は乾かしてから、所定の場所に保管する。
9	在庫台帳への記帳	・農薬在庫台帳へ使用量と在庫量を記帳する。
10	使用記録簿への記帳	・農薬使用記録簿へ所定項目を記帳する。